伝えなければならない情報を素早くお知らせ！

つかさのマスト！ニュース

2025年度決算概況

※金額は速報・概数値

問合せ 財政室 TEL222-3288 FAX222-3283



一般会計

〈収支の全体像〉

歳入総額 9799億円 − 歳出総額 9638億円 − 翌年度への繰り越し額 70億円 ＝ 実質収支 +91億円

ポイント
- 特別の財源対策を実施せず、実質収支は＋91億円
- 2025年度も計画どおり過去負債を35億円返済し、持続可能な行財政運営に向けて前進

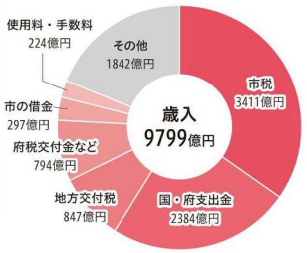
財政用語メモ

特別の財源対策
公債償還基金（市の借金返済のための積立金）の取り崩しなどにより、赤字補填を行うこと。

過去負債
赤字補填のために、公債償還基金からこれまで取り崩してきたもの。今後返済が必要な総額は390億円（2026年9月1日時点）。



一般会計の歳入の状況



市税収入 3411億円

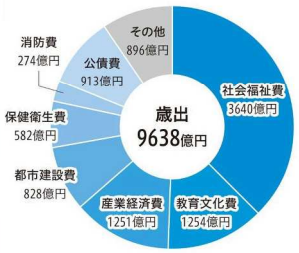


ふるさと納税寄付金 133億円
（前年度比18億円増）

〈主な寄付金収入増加の要因〉
京都ならではの返礼品の充実など



一般会計の歳出の状況



例えばこれらの取り組みに使われたんやでぇ。

社会福祉費
認可保育施設を利用する世帯内第2子以降の保育料を無償化し、子育て世帯の負担を軽減

教育文化費
探究学習などの特色ある教育を実践しつつ、さまざまな主体の交流を促す取り組みを推進

産業経済費
地域企業の下支えを徹底、企業の国内外での成長支援や海外企業誘致を強化

都市建設費
京都安心すまい応援金の充実、公園の魅力アップなど居場所づくりを推進

保健衛生費
がん検診や予防接種などの市民の健康づくりの促進や、市立病院の資金繰りを支援

決算概況の詳細はHPでご確認を。市の財政状況も詳しく解説しています。

公営企業会計

公営企業は、お客さまからの料金収入を基に運営する「独立採算制」が原則やから、一般会計とは別会計になるんやでぇ！

市バス・地下鉄事業のポイント

問合せ 財務課 TEL863-5085 FAX863-5069

両事業とも3年連続で黒字

- 市バスは、9億円の黒字を確保できたが、2年連続で黒字幅は縮小。
- 地下鉄は、32億円の黒字。お客さま数、運賃収入ともに過去最高を達成。

物価の高騰や担い手不足など、依然として厳しい経営状況のため、引き続き経営健全化の取り組みを推進していきます。

詳細はこちら▶



上下水道事業のポイント

問合せ 経営戦略室 TEL672-7722 FAX682-2454

- 老朽化した管路・施設の改築更新や耐震化、浸水対策など長期的な視点に立ち、ライフラインを守るための事業を着実に進進。
- 効率的な事業運営に努めたものの、物価の高騰等により水道・下水道ともに黒字幅が減少。

今後も老朽施設の増加や物価の高騰など、厳しい経営状況が見込まれるため、引き続き効率的・効果的で持続可能な事業運営を推進していきます。

詳細はこちら▶





京都市の人口統計
（2026年8月1日時点）

142万8029人
男 67万2485人
女 75万5544人

世帯数

76万547世帯

- 市民しんぶんの制作費1億1650万円のうち、約47%（5500万円）を広告料収入で賄っています（金額は概算）。
- 市民しんぶん1部当たりの公費負担額は4.0円です。